

はじめてまして、ショパン。

物語とダンスで出会う“ピアノの詩人”

2022年1月15日(土) 14:00開演(13:30開場)

西宮市甲東ホール(阪急甲東園駅 西側直結 アプリ甲東4階)

入場無料 (ご予約下さい)



『はじめてまして、ショパン。』は
新型コロナウイルス感染拡大防止のため
無観客公演(後日配信予定)
となりました。

第一部 朗読とピアノ

子どものための〔ショパンの一生〕

第二部 ダンスとピアノ〔レ・シルフィード〕

ダンス: 斉藤綾子

ピアノ: 和田悠加

はじめまして、ショパン。

物語とダンスで出会う「ピアノの詩人」

「ピアノの詩人」と呼ばれ、古くから親しまれてきたショパン。美しいメロディをピアノの生演奏でお届けします。第一部はお子さま向けの朗読劇。脚本も朗読も私たち神戸女学院大学の学生が担当します。

ショパンってこんな人だったんだ！と、親しく感じていただければと思います。

第二部は、コンテンポラリーダンスです。観ていて想像の世界が広がる、独創的な世界を共有できればと思っています。制約の多い毎日ですが、皆さまの心が少しでもあたたかくなればと願っています。

出演者プロフィール



斉藤 綾子(さいとう あやこ)

1990年8月大阪府生まれ。幼い頃から踊りに親しむ。大阪芸術大学舞台芸術学科舞踊コース卒業。2015年夏よりダンスユニット...1[アマリイチ]での活動を始める。

近年、サイトウマコト、今中友子、高野裕子、素我螺部、きたまり/KIKIKIKIKIKI、多田淳之介、木村玲奈、akakilikeなどの作品にダンサーとして出演。また、振付助手としても多くの作品に参加する。

ひとりで道を歩くのが好きで、石や棒をよく拾う。電車に乗っていることが多い。蚊に刺されやすい。好きな食べ物は白ごはん。



和田 悠加(わだ ゆうか)

1993年11月生まれ。4歳からピアノを始める。神戸女学院大学音楽学部卒業、同大学大学院修了。

演奏活動を行いながら、アンサンブルくれよんのメンバーとしてアウトリーチ活動を行い、またピアノ講師として後進の指導にあたっている。宝塚演奏家連盟会員。藤原千秋、田中修二の各氏に師事。

暇さえあればベッドの上にいたい。お風呂上がりのお菓子とアイスが日課で、妊娠中太りすぎる。今1番行きたいところはディズニーランド。

花谷 瑞(はなたに みずき・第一部ピアノ)

2000年12月生まれ。4歳よりピアノを始める。

兵庫県立西宮高等学校音楽科卒業。現在、神戸女学院大学音楽学部3年生。

これまでにピアノを宇野洋子、轟木裕子、山上明美の各氏に師事。

鬼滅の刃で1番好きなキャラクターは富岡義勇です。

Instagram @mizukihanatani

ご予約・お問合せ

甲東ホール Tel: 0798-51-5144

メール: chopin@cocoro.uk

感染症拡大防止のため、必ずご予約ください。

Timetable

第一部

14:00開演

子どものための<ショパンの一生>

ワルツ第6番 Op.64-1《子犬のワルツ》

マズルカ第5番 Op.7-1

前奏曲第15番 Op.28-15《雨だれ》

練習曲 Op.10-3《別れの曲》

第二部

15:10ごろ開始(16:30ごろ終演予定)

レ・シルフィード〜ショピニアーナ

ショパン ノクターン第10番 Op.32-2

ワルツ第11番 Op.70-1

マズルカ第23番 Op.33-2

プレリュード第7番 Op.28-7

ワルツ第7番 Op.64-2

ワルツ第1番 Op.18

写真展

「めじらウンジのレ・シルフィード」

曲目等は、変更になる場合がございますのでご了承ください。第二部は、就学前のお子様もご入場いただけますが、特にお子様向けの内容ではありません。

マスク着用、手指消毒、体温チェックなどの感染症対策にご協力をお願いいたします。



主催：神戸女学院大学キャリアデザインプログラム委員会、西宮市甲東ホール指定管理者(株)双葉化学商会

共催：西宮市

協力：ダンスの時間実行委員会、斉藤ダンス工房